

建築・都市環境工学科

社会基盤の安全性と快適性を担う技術者の育成

- 2コース制による建築・都市環境工学(土木) 工学分野の専門教育
- 両分野の融合に立脚した4つの研究・教育領域

就職・進学・資格

《卒業後の主な進路》

- 学部から大学院前期課程への進学・・・3割
 - 就職・・・・・・・・・・7割
- (民間) 建設会社、住宅関連会社、設計事務所・コンサル、
総合エンジニアリング会社、設備関連企業、建設資材関連会社、
その他、就職先は多様化している
- (公務員等) 国家公務員、地方公務員、旧公団 等



測量学での風景

《取得可能な資格・その他》

- 両コース卒業生共に取得可能
 - 2級建築士受験資格(卒業時)
 - 1級建築士受験資格(2年の実務経験後) **ただし都市環境工学コースは別途修得科目要件あり**
- 修習技術者の資格(技術士補の第一次試験免除)
- 日本技術者教育認定機構(JABEE)による技術者教育プログラムの認定を受けている
- 都市環境工学コース卒業生のみ取得可能
 - 測量士補(卒業時)
 - 測量士(正味1年の測量業務経験後)

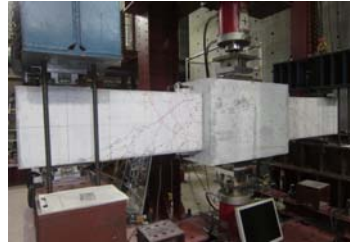


4年	後期	建築構造工学	建築設計	地域都市計画	環境防災工学	研究室配属 時代が求める多様な 研究・教育分野 (4分野の選択)
	前期					
3年	後期	建築学コース		都市環境工学コース		建築・都市環境(土木) 工学の専門&融合教育
	前期					
2年	後期	(2年後期: コース仮配属)		(2年後期: コース仮配属)		建築・都市環境(土木) 工学に共通する基礎教育
	前期					
1年	後期	共通教育科目・専門基礎科目				技術者としての 基礎的素養
	前期					

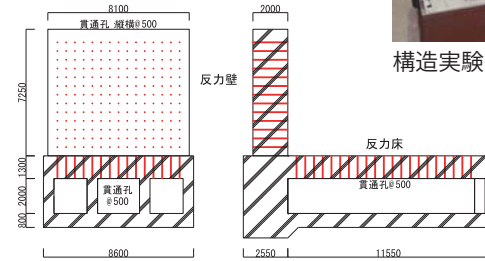
建築構造工学分野



大型構造物実験室
半世紀にわたって使用してきた構造実験室を、反力壁・反力床をもつ大型構造物実験室として改築し、複数の実験の同時進行も可能になりました。



構造実験の例



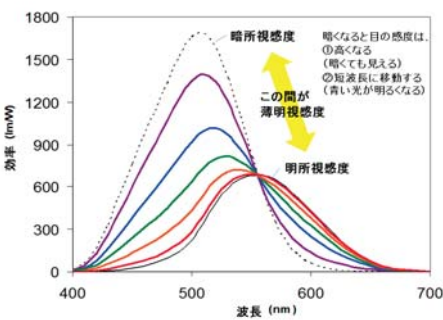
万能試験機 1



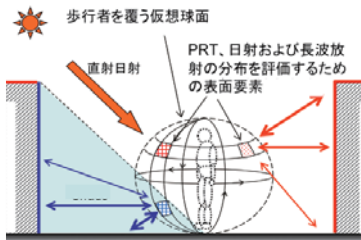
精密万能試験機 1

試験機	最大負荷容量
万能試験機 1	1000kN (圧縮・引張)
万能試験機 2	1000kN (圧縮・引張)
精密万能試験機 1	100kN (圧縮・引張)
精密万能試験機 2	50kN (圧縮・引張)

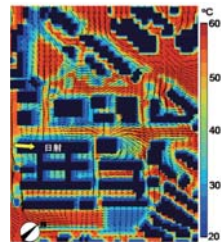
建築設計分野



薄明視の明るさレベルでの効率向上



不均一放射環境評価手法の提案



風速・地表面温度分布



学校空間の設計プロセスや行動等の研究

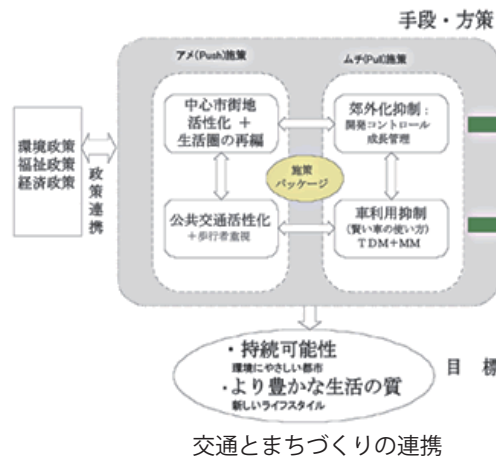


フランス・イタリア建築思潮研究



駐車場の屋外広場としての活用

地域都市計画分野



交通とまちづくりの連携



カーシェアリング社会実験



エコビレッジのデザイン



民宿をカフェとして改修



原子力と地域との共生

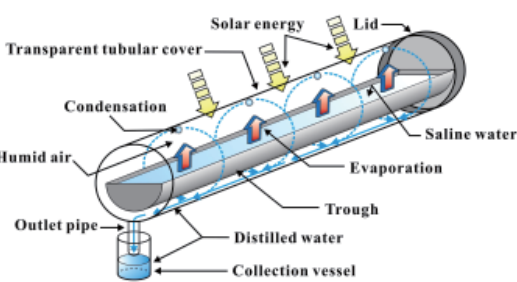


異世代ホームシェア事業

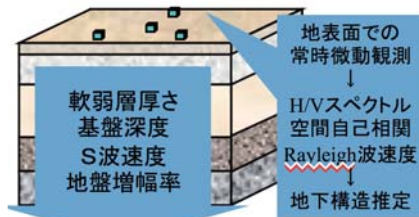


中山間地域の空き家活用

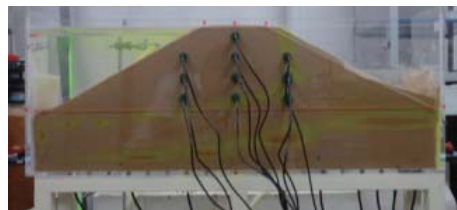
環境防災工学分野



安価な太陽熱淡水化装置の開発



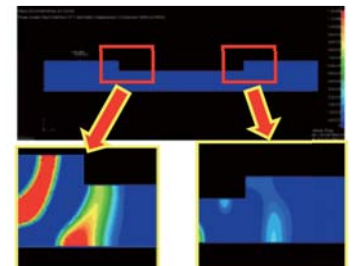
常時微動に基づく地下構造探査法の開発



河川堤防の浸透破壊に関する模型実験



高流動コンクリート実験風景



超音波の回折現象を利用した非破壊的断面欠損量評価 (狭隘部の断面欠損)